



「リハビリテーションケーススタディ (45例のPO研修)」

岩 倉 博 光 編

本書は脳卒中を初めとして、脊損・切断・末梢神経損傷・RAなどのリハビリテーション医療における代表的な疾患45症例について、リハビリテーション担当医29名が治療経過をまとめたものである。表題にPO研修とあるように、全編が、患者の抱える問題点を各リハビリスタッフからの情報をもとにいかにより正確にとらえ、誰がどの時期にどのようにそれを解決していったかに主眼をおいて整理され書かれている。

日頃我々が接する患者は、たとえ身体に機能障害をもつ者であっても、心理・社会的側面でも多くの問題点をあわせ持っている。しかし日常の臨床場面では、治療者がそれぞれに自分の関心領域の範囲内でのみ患者の障害を追いかけて、他の面での患者のニーズにともすると無配慮になりがちで、リハビリ部門全体としての統合性をもたない各自バラバラのサービスの提供に終始してしまうという危険に陥り易い。

一人の患者に関わるリハビリスタッフ間の有機的連携の在り方や、それが論理的・計画的なサービスの遂行にあたっているかという重要な点であることが、本書ではチ

ームリーダーとしての医師の総合的な視点から、従来の教科書的な図式によるチームワーク論ではなく事例に即して示されており、臨床活動にあたって示唆される点が多い。

45の症例も決して特殊な例ではなく、臨床に携わるPT・OTなら誰もが一度は同様の問題点をもつ患者を受け持った経験があるのではと思わせるケースが選ばれていて、治療経過を興味深く読み進むことができる。また随所に国家試験形式で治療方針に関する問題がていねいな解説とともに挿入されているのが特徴的で、臨床的な知識の整理や自分の発想を見直すきっかけとして役立つよう工夫がなされている。

初期評価の段階からゴール達成まで、実際に患者を目の前にして、筆者である諸先生からスーパーバイズを受けているような手ごたえを読み手に与えてくれる本である。

(B5, 頁310, 図25, 写真89, ¥4900(〒300), 医学書院, 1981)

(東京都養育院付属病院 作業療法士 浅海 奈津美)